

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークの基盤と専門職 (2 単位)		3. 科目番号	SSMP2155 SNMP2355 SCMP2155 SBMP2155 SPMP2155 PSMP2455
2. 授業担当教員	中土 純子			
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (社会福祉士及び介護福祉士法、精神保健福祉士法) について理解した上で、ソーシャルワークの概念、基盤となる考え方 (原理・理念) を学び、現代に至るまでのソーシャルワークの歴史的な形成過程について学ぶ。</p> <p>さらに、社会福祉士、精神保健福祉士、ソーシャルワーカーそれぞれの倫理綱領を読み解き、ソーシャルワークの価値規範と倫理について考究を行う。</p>			
8. 学習目標	<p>社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. 講義内容に関する課題 (確認テスト/レポート) を複数回実施する。</p> <p>2. 課題の詳細は講義内で提示する。</p>			
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士 精神保健福祉士養成講座 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 [共通・社会専門]』中央法規出版, 2021 年</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『教職科目要説 (中等教育編)』ミネルヴァ書房。</p>			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 受講態度・参加姿勢 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。</p> <p>2. 筆記試験とレポート試験を行う。60%</p> <p>○評定の方法</p> <p>1. 社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけについて理解する。</p> <p>2. ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の職域と求められる役割について理解する。</p> <p>3. ソーシャルワークの基盤となる考え方とその形成過程について理解する。</p> <p>4. ソーシャルワークの価値規範と倫理について理解する。</p>			
12. 受講生への メッセージ	<p>受講態度や姿勢、提出物に関しては、「他人に迷惑をかけない」こと、「提出期限を守る」ことを求めます。講義の進捗状況・理解度等によって、シラパスの内容が前後する場合があります。</p>			
13. オフィスアワー	初回の講義で通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	オリエンテーション : シラパス、講義概要、試験・レポートについての説明	事前学習	シラパスについて目を通し、事前に講義概要を理解しておく。	
		事後学習	授業内容を振り返り、講義概要と学習目標をまとめる。	
第 2 回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (1) : ソーシャルワーク専門職の国家資格と専門性	事前学習	教科書の第 1 章第 1 節～第 4 節を読み、概要を理解する。	
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。	
第 3 回	ソーシャルワーク専門職である社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ (2) : ソーシャルワーカーに求められるコンピテンシー	事前学習	教科書の第 1 章第 5 節を読み、概要を理解する。	
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。	
第 4 回	ソーシャルワークの概念 (1) : ソーシャルワークの定義	事前学習	教科書の第 2 章第 1 節を読み、概要を理解する。	
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。	
第 5 回	ソーシャルワークの概念 (2) : ソーシャルワークの構成要素	事前学習	教科書の第 2 章第 2 節を読み、概要を理解する。	
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。	
第 6 回	ソーシャルワークの原理	事前学習	教科書の第 3 章第 1 節を読み、概要を理解する。	
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。	
第 7 回	ソーシャルワークの理念 (1) : 当事者主権、尊厳の保持、権利擁護、自立支援	事前学習	教科書の第 3 章第 2 節を読み、概要を理解する。	
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。	
第 8 回	ソーシャルワークの理念 (2) : エンパワメント、ノーマライゼーション、ソーシャル	事前学習	教科書の第 3 章第 2 節を読み、概要を理解する。	

	インクルージョン、原理・理念に基づくソーシャルワーク	事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第9回	ソーシャルワークの形成過程（1） ：ソーシャルワークの源流と基礎確立期、発展期	事前学習	教科書の第4章第1節・第2節を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第10回	ソーシャルワークの形成過程（2） ：ソーシャルワークの展開期と統合	事前学習	教科書の第4章第3節を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第11回	ソーシャルワークの形成過程（3） ：日本におけるソーシャルワークの形成過程	事前学習	教科書の第4章第4節を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第12回	ソーシャルワークの倫理（1） ：専門職倫理の概念	事前学習	教科書の第5章第1節を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第13回	ソーシャルワークの倫理（2） ：倫理綱領とソーシャルワーク実践	事前学習	教科書の第5章第2節を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第14回	ソーシャルワークの倫理（3） ：倫理的ジレンマ	事前学習	教科書の第5章第3節を読み、概要を理解する。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
第15回	まとめ	事前学習	配布資料を整理し、ノートをまとめる。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめる。
期末試験			